

みんなの

# ちいき

社協だより

vol.59

9  
2019

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

# ふくし

## CONTENTS

事業報告 / 決算	2
介護予防・生活支援サポーター養成講座	4
総社市ボランティアセンター	5
地域ニュース from 地区社協	6
/ 生活困窮支援センター	7
権利擁護センター“しえん”	8
ひきこもり支援センター	9
障がい支援	10
復興支援センター	12



将来は僕たち 私たちにまかせてよ!



詳細は、裏面をご覧ください。



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助け合い、支え合いのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

平成30年度 事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目		決算
【サービス活動増減の部】		
会費収益		14,559,700
寄付金収益		6,786,884
経常経費補助金収益		99,934,603
受託金収益		145,974,336
事業収益		2,679,311
負担金収益		3,432,279
介護保険事業収益		75,090,922
障害福祉サービス等事業収入		39,931,118
その他の収益		4,082,110
サービス活動収益計(1)		392,471,263
人件費		293,242,848
事業費		39,115,972
事務費		17,307,286
助成金費用		26,822,286
基金組入額		40,000
減価償却費		9,129,119
国庫補助金等特別積立金取崩額		△5,527,083
徴収不能額		878,000
その他の費用		44,753
サービス活動費用計(2)		381,053,181
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		11,418,082

勘定科目		決算
【サービス活動外増減の部】		
収益	受取利息配当金収益	80,995
	雑収益	1,967,684
	サービス活動外収益計(4)	2,048,679
費用	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,048,679
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	13,466,761
【特別増減の部】		
収益	施設整備等補助金収益	1,780,000
	固定資産受贈額	900,000
	特別収益計(8)	2,680,000
費用	固定資産売却損・処分損	3
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,780,000
	特別費用計(9)	1,780,003
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	899,997
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	14,366,758
【繰越活動増減差額の部】		
	前期繰越活動増減差額(12)	161,586,469
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	175,953,227
	基本金取崩額(14)	0
	基金取崩額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	0
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	175,953,227

平成30年度 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	206,414,489	流動負債	46,529,599
現金預金	102,805,945	事業未払金	42,114,337
事業未収金	99,638,544	預り金	38,388
未収補助金	3,970,000	職員預り金	4,376,874
固定資産	677,189,271	固定負債	115,037,154
基本財産	127,231,940	退職給付引当金	115,037,154
建物	124,231,940	負債の部合計	161,566,753
定期預金	3,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	549,957,331	基本金	3,000,000
車両運搬具	7,077,632	基金	372,495,548
器具及び備品	8,870,682	福祉基金	280,520,000
緊急援護資金貸付金	1,461,000	報奨基金	2,572,548
退職手当積立基金預け金	115,037,154	地域福祉活動基金	89,403,000
福祉基金積立資産	280,520,000	国庫補助金等特別積立金	125,572,917
報奨基金積立資産	2,572,548	国庫補助金等特別積立金	125,572,917
地域福祉活動基金積立資産	89,403,000	その他の積立金	45,015,315
運用資金積立資産	15,015,315	運用資金積立金	15,015,315
備品等購入資金積立資産	30,000,000	備品等購入資金積立金	30,000,000
資産の部合計	883,603,760	次期繰越活動増減差額	175,953,227
		次期繰越活動増減差額	175,953,227
		(うち当期活動増減差額)	14,366,758
		純資産の部合計	722,037,007
		負債及び純資産の部合計	883,603,760

日本赤十字社

JAPANESE RED CROSS SOCIETY

ご協力ありがとうございました。

日本赤十字事業におきましては、日頃からのご理解とご協力をありがとうございます。皆様から寄せられた会費・寄付金は、災害時の救護支援活動や減災・防災に向けての活動をはじめ、国際援助活動、救急法、家庭看護法、幼児安全法等の講習など、日本赤十字社の活動に有効に活用させていただいております。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



## ～平成30年度 主な事業実績～

### 1. 法人運営事業

- (1) 理事会・評議員会・幹部会・監査会の開催
- (2) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新  
「みんなのちいきふくし」の発行・4回（1回あたり 25,700部）発行
- (3) 社会福祉協議会会員加入促進と強化  
会費総額 14,559,700円 加入率 56.6%

### 2. 地域福祉活動事業

- (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進
  - ① 地区社協会長会議の開催 4回開催
  - ② 「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」の実施
  - ③ 小地域ケア会議・圏域地域包括ケア会議との連携
  - ④ 職員の地区担当制による推進
- (2) 民生委員・児童委員活動との連携
- (3) 福祉委員活動の推進
  - ① 福祉委員の配置を推進 586人（46世帯に1人の配置）
  - ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援
  - ③ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施  
・「福祉の支えあいフォーラムin総社2018」開催（12月2日）  
④ 「福祉委員だより」ささえあい」の発行 2回
- (4) ふれあいサロン事業の推進
  - ① ふれあいサロンの立ち上げ、運営支援
  - ② ふれあいサロン研修会、交流会の開催
  - ③ ふれあいサロン活動助成金の交付  
・申請 222か所 ・助成 220か所（総額 4,718,000円）
- (5) ボランティアセンター事業の実施
  - ① ボランティア(グループ、個人)活動の支援 登録(72グループ、個人3人)
  - ② ボランティア活動のコーディネート 47件実施
  - ③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援
  - ④ 「夏のボランティア体験事業」の実施  
・市内の中学生・高校生 257人参加 ・51事業所で活動  
・事前、事後研修会の実施
  - ⑤ ボランティア養成講座の開催
  - ⑥ ボランティア連絡協議会の支援  
・13団体、179人 ・総会・交流会・視察研修・役員会の実施
- (6) 災害ボランティアセンター事業
  - ① 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの整備
  - ② 7月豪雨災害における災害ボランティアセンターの設置運営  
・期間：7月8日～9月30日（10月1日から復興支援センター設置）  
・ボランティア活動延数：15,231人  
・ニーズ対応数：418件  
・応援社協27社協等357人  
・ボランティアセンターサテライトの設置 6ヶ所
- (7) 福祉教育の推進
  - ① 社会福祉学習支援事業の実施  
・実施件数：小学校12件、中学校1件、地域団体1件
  - ② 県立高校社会貢献活動との連携 南高：延 98人 総高：延 27人
- (8) 生活福祉資金等の貸付
  - ・生活福祉資金の貸付 相談件数87件（内貸付実施件数0件）
- (9) 生活支援サービスの検討
  - ① 生活支援サポーター養成講座の開催
  - ② 生活支援サポーター連絡会の開催
  - ③ 生活支援「にこにこサポート事業」の実施（サポーター登録 132人）  
・活動件数：1,207件 利用者：42人
  - ④ 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）
  - ⑤ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）
- (10) 社会福祉法人との連携事業

### 3. 子育て支援事業

- (1) 子育て支援団体への支援
- (2) 子育てサロン事業の支援

### 4. 高齢者福祉事業

- (1) 地区給食サービス事業の実施（地区社協主催で実施）
- (2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）
- (3) 高齢者等団体  
（老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会）支援
- (4) そうじゃ60歳からの人生設計所（生涯現役促進事業）の設置運営

### 5. 障がい者福祉事業

- (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営
  - ① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）
  - ② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施
- (2) 発達障がい者支援体制整備事業
  - ① 発達障がい者支援ネットワークの構築
  - ② 発達障がい支援者養成講座の開催
- (3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営  
・障がい者就労支援の推進
- (4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営
  - ① 日中活動支援事業 ② 料理教室の開催

### (5) 地域自立支援協議会の運営

- ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会等の運営
- ② 障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）の開催
- (6) 障がい者（児）団体の支援

### 6. 権利擁護事業の設置運営

- (1) 権利擁護センターの設置運営
  - ① 運営委員会の開催
  - ② 支援検討委員会の開催
  - ③ 虐待防止対策事業の実施
  - ④ 成年後見支援事業の実施
  - ⑤ 入院・入居支援事業の実施
  - ⑥ 犯罪被害者支援事業の実施
  - ⑦ 市民後見人養成事業の実施
  - ⑧ 市民後見人フォローアップ事業の実施
  - ⑨ 法律ミニ講座の開催
  - ⑩ 専門職向け法律相談の実施
  - ⑪ 成年後見制度における市長申立事務補助の実施
  - ⑫ ミニなんでも相談会の開催
- (2) 日常生活自立支援事業の実施
  - ① 日常生活自立支援事業の実施 利用者：14人
  - ② 生活支援員による援助の実施 支援員：12人
- (3) 法人後見事業の実施
  - ① 法人後見事業の実施 受任12件（後見 5件、保佐 6件、補助 1件）
  - ② 後見支援員による後見業務、研修事業の実施  
・支援員 18人（市民後見人登録者） 内 9人が支援を実施
- (4) 生活困窮支援センターの設置運営
  - ① 協議会及び常任委員会の開催
  - ② ワーキンググループ（WG）の開催
  - ③ 支援調整会議の開催
  - ④ 自立相談支援事業の実施
  - ⑤ 家計相談支援事業の実施
  - ⑥ 学習等支援事業の実施
  - ⑦ 食糧支援の実施
  - ⑧ 一時生活場所の確保の実施
  - ⑨ 子ども食堂支援事業の実施
- (5) 「ひきこもり」支援事業の実施
  - ① ひきこもり支援センター“フンタッチ”の設置運営  
・延相談件数：2,329件（訪問 518件、来所 855件、電話766件、メール 190件）  
・実相談者数：195人（男性140人 / 71.8%）（女性 54人 / 27.7%）  
・社会参加実人数：19人
  - ② ひきこもり支援等検討委員会（5回）
  - ③ 課題別ワーキンググループの運営（支援者養成・社会参加・事例検討）
  - ④ ひきこもりサポーター養成講座（4回：61人登録）
  - ⑤ ひきこもりサポーターフォローアップ研修（2回）
  - ⑥ ひきこもりサポーター定例ミーティング（12回）
  - ⑦ ひきこもりサポーターテキストの作成
  - ⑧ 居場所「ほっとタッチ」の設置運営
  - ⑨ ひきこもり家族会設立記念式典（10月18日）

### 7. 在宅福祉サービス事業

- (1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施
  - ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
  - ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
- (2) 障がい福祉サービス事業の実施
  - ① 指定特定相談支援事業の実施
  - ② 指定障がい児相談支援事業の実施
  - ③ 障害支援区分認定調査の実施
  - ④ 居宅介護事業の実施
  - ⑤ 障がい者（児）移動支援事業の実施
- (3) 高齢者の自立支援事業（ホームヘルプサービス）の実施
- (4) 車イス貸出し事業の実施

### 8. 福祉センター等管理運営事業

- (1) 総社市総合福祉センターの管理運営
- (2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、  
山手ふれあいセンターの指定管理

### 9. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

- (1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施
  - ① 共同募金実績額 9,937,898円
  - ② 歳末たすけあい募金 実績額 64,603円
  - ③ 7月豪雨災害に係る災害支援の実施
- (2) 共同募金事業の実施  
・共同募金ポスターコンクールの開催
- (3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

### 10. 赤十字事業

- (1) 日赤社資増強運動の推進  
・実績額 9,833,510円
- (2) 災害救援事業の実施  
・7月豪雨災害における支援活動  
・災害時のためのハイゼックス等による炊き出し訓練
- (3) 赤十字奉仕団活動の推進及び助成
- (4) 赤十字事業普及のための広報活動  
・救急法、家庭看護法等の講習会の開催

### 11. 災害救援活動、災害救援募金の実施

12. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導  
・社会福祉援助技術現場実習の受け入れ  
・見学実習・講義等

### 13. 視察研修等の受入

### 14. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

# 介護・生活 予防・支援 サポーター 養成講座

総社市では、平成29年4月から「総社市生活支援にこにこサポート事業」を実施し、高齢者等の日常生活のちょっとした困りごとを応援する活動を行っています。本講座の修了後は同事業の「にこにこサポーター」として活動いただくことも可能です。

## 第1回 | 9月5日(木) 10:00 ▶ 12:00

介護保険制度と高齢者施策について  
／総社市長寿介護課  
「地域福祉の取り組みについて」  
／総社市社会福祉協議会

## 第2回 | 9月11日(水) 10:00 ▶ 12:00

「生活支援にこにこサポート事業について」  
／にこにこサポーター・総社市社会福祉協議会  
「地域包括支援センターの役割について」  
／総社市中央部南地域包括支援センター 吉福 智 氏

## 第3回・第4回 | 9月11日(水) ▶ 10月15日(火) (医療介護市民講座から2講座以上を選択して受講)

- ① 9月11日(水)「自分らしい人生を送るための医療と、最期までの生き方を考える(仮)」  
／岡山大学 救急医学分野 中尾 篤典 教授
  - ② 9月17日(火)「人生会議、はじめませんか？」  
／あさのクリニック 横山 昌平 医師・大塚 美智子 看護師
  - ③ 9月26日(木)「お口の健康・介護予防」／吉備歯科医師会 中田 尚志 先生
  - ④ 10月2日(水)「災害に備えよう～あなたができること～」／日本赤十字社 岡山県支部
  - ⑤ 10月15日(火)「最期まで自宅で過ごしたい…を支える」／岡山県介護支援専門員協会 総社支部
- ◆時間：13:30～15:00(全日程共有) ◆会場：総社市保健センター 2階 保健指導室・集団指導室  
※9月11日(水)は、**総社市総合福祉センター 3階 大会議室**、9月26日(木)は、**昭和公民館 2階 講習室**

## 第5回 | 10月31日(木) 10:00 ▶ 12:00

「いきいき百歳体操と  
ふれあいサロン活動について」  
／総社市長寿介護課・総社市社会福祉協議会  
「市内の支え合い活動・居場所について」  
／山田べんりーな、なっ茶ん家(予定)

## 第6回 | 11月8日(金) 10:00 ▶ 12:00

「地域住民の支え合い、  
今、地域に求められること」  
グループワーク  
「今、私たちにできることを考えよう」  
／美作大学 小坂田 稔 氏

**会場** 総社市総合福祉センター 2階 技能習得室

**対象** ・介護予防・生活支援に関心のある方  
・にこにこサポーターとして活動いただける方

**受講料** 無料

【お問い合わせ】 総社市社会福祉協議会  
地域福祉課 地域福祉係

電話：0866-92-8552  
FAX：0866-94-0089

# ボランティア養成講座の開催

～地域のふくしのために活動しませんか？～

## 【基礎講座】

第1回：『ボランティア活動入門』

令和元年 8月31日(土) 10:00～11:30

第2回：『総社市における福祉ボランティア活動』

令和元年10月26日(土) 10:00～11:30

第3回：『明日からできるボランティアとは?』

令和元年11月 9日(土) 10:00～11:30

## 【講師】

岡山NPOセンター  
参画推進センター長  
西村 ころろ 氏

## 【会場】

総社市総合福祉センター

## 【専門講座】

※各講座の会場は、総社市総合福祉センターを予定しております。

### ①点訳ボランティア講座

【開催日】

9/9(月) 10:00～  
10/1(火) 10:00～

【講師】

新納 季温子 氏  
(総社点訳の会)

### ②朗読ボランティア講座

【開催日】

9/9(月) 10:00～  
10/8(火) 10:00～

【講師】

新納 季温子 氏  
徳永 圭一 氏  
(NHK岡山放送局 放送部副部長)

### ③災害ボランティア講座

【開催日】

9/9(月) 10:00～  
10/8(火) 10:00～

【講師】

山本 浩史 氏  
(新見公立大学 教授)

### ④福祉レクリエーション講座

【開催日】

9/26(木) 10:00～  
10/18(金) 10:00～

【講師】

土井脇 典子 氏  
(総社レクリエーションダンスクラブ)  
釜口 一三 氏  
(総社レクリエーションクラブたんぼぼ)

### ⑤障がい者ふれあい ボランティア講座

【開催日】

9/18(水) 13:30～  
10/3(木) 13:00～  
10/31(木) 10:00～

【講師】

NPO 法人ピアサポートセンター  
「ひといろの実」 ほか

### ⑥こどもを支える ボランティア講座

【開催日】

10/2(水) 10:00～  
10/9(水) 10:00～

【講師】

直島 克樹 氏  
(川崎医療福祉大学 講師)

※9月9日は点訳ボランティア、朗読ボランティア共通講座となります。

## 総社市ボランティアセンターについて

総社市社協では、地域住民の福祉意識の高揚とボランティア活動の推進を目的に社協内に総社市ボランティアセンターを設置し、事業を実施しています。

### 【主な事業】

- ①ボランティア活動のコーディネート
- ②ボランティア養成講座等の実施
- ③ボランティアグループの支援
- ④ボランティア保険等の加入事務

みなさんの中で

「ボランティアをしてみたい」

「ボランティアを依頼したい」

というご希望があれば、総社市ボランティアセンターにご相談ください。

### 【お問合せ先】

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会  
総社市ボランティアセンター

TEL: 0866-92-8552

FAX: 0866-94-0089

### 【ボランティア活動のコーディネートについて】

#### 【ニーズ】

ボランティア  
をしたい

ボランティアに  
依頼したい

#### 【コーディネート】

ボランティアコーディネーターがみなさんの希望を聞き、「活動先」や「ボランティア」につなぎます。

活動先

ボランティア

## 三須地区社協

令和元年5月21日（火）東公民館三須分館において、令和元年新時代最初の三須地区敬老会を開催いたしました。

三須地区敬老会の案内者は、80歳以上の方358名と本年めでたく結婚50年を迎えられるご夫妻を敬老会の席において金婚のお祝いをさせて頂いていただいております。

ご案内いたしましたところ、出席者は50名となりました。その内、米寿を迎えられた方4名、金婚を迎えられた1組のご出席をいただきました。

敬老会には、総社市長片岡聡一氏をはじめ6名のご来賓をお迎えし、ご挨拶をいただきました。米寿の方、金婚者の方に記念品を贈呈し祝典を終了いたしました。

その後の余興では、三須幼稚園児の皆さんによる演技（歌と踊り）と、ふれあいタイム（てんとうむしのメダルの贈呈）があり、出席者は、にっこり・ありがとうと答えておられました。もう一つは、オリジナル曲の創作活動や幼稚園・公民館などのライブステージへ積極的に出演している「そらゆめ」の皆さんの代表曲である「新しい命につないで」など、昭和20～30年代の懐かしい歌の数々の演奏と歌を聴かせていただくと共に一緒に口ずさむひと時を送り、楽しく敬老会を閉会することができました。



## 新本地区社協

総社市長片岡聡一氏をはじめ、衆議院議員加藤勝信氏や多くのご来賓のご臨席をいただき、5月6日（月）新本地区敬老会を行いました。

昭和の激動の時代を生き抜き、社会でも、家庭でもパワフルにご活躍され、地域社会の基礎を築いてくれた方々です。

地区連絡員、福祉委員、婦人会の皆様の大なる協力を得て、片岡市長のギター弾き語りでのお祝い、さらに新本小児童の作文、大正琴、詩吟、神楽で精一杯のおもてなしをいたしました。

高齢化の進む新本地区は、今年248名に案内を出しましたが、60名の参加に留まりました。来年は一人でも多くの参加者で賑わうことを願っております。今後とも楽しく安心して暮らしていただけるよう、地区を挙げて応援したいと思います。



# 清音地区社協



超高齢社会を取り巻く様々な問題は、次第に膨らんでいます。高齢者の代名詞とさえ思わせる認知症もその一つでしょう。このような状況の中、去る4月15日（月）、総社市長寿介護課の呼びかけで『総社市認知症SOS声掛け訓練』が実施され、地域包括支援センター、清音地区小地域ケア会議等に呼応し、清音地区社協もこれに参加しました。

2名の「認知症本人」を設定し、清音福祉センターから2グループに分かれ、駅方面と小学校方向の二手にそれぞれ進んでいき、通りすがりの住民の方々から本人らしき人へ声をかけてもらいました。

「どこへ行かれるんですか?」「何かお手伝いしましょうか?」「わたしは〇〇町内の〇〇ですが、どちらから来られたのですか?」等々の声掛けをしていただきました。同時に、本人の年齢、容姿等の情報がS

OSメールの受信登録者の携帯電話、スマートフォン等を通して配信されました。

これを機に、今後この地域の民生委員、福祉委員の方々との連携を密にし、声掛け、見守り等の活動を進めていきたいと思えます。



## 令和元年度 第1回

# フードドライブ

ご協力よろしくお願いします!

○日時

10月26日（土）10:00～13:00

○場所

コープ総社東

◎ご協力いただきたい食品

- ・常温で保存可能なもの
- ・未開封で破損していないもの
- ・賞味期限が明記されており、1か月以上残っているもの



### フードドライブって?

ご家庭のいただきものや、買いすぎた食品を募り、地域の福祉団体などに提供する取り組みです。

## 総社市生活困窮支援センター

生活の不安・心配ごと

わたしたちにご相談ください!



開所時間 月曜日から金曜日（祝日除く）

午前8時30分～午後5時15分

Tel (0866) 92-8374

連絡先

Mail shien@sojasyakyo.or.jp

権利擁護センターからのお知らせ



法律ミニ講座に参加しませんか？



総社市権利擁護センター“しえん”では、法律の正しい知識を身に着けることを目的に、今年度も「法律ミニ講座」を開催しています。弁護士と一緒に、生活に身近な法律について学びましょう。どなたでもご参加いただけます！お誘いあわせの上、お申し込みください。

【第3回】「離婚問題① ～離婚するには？子どもはどうなる？～」

令和元年 9月26日（木） 14：00～15：30

【第4回】「離婚問題② ～財産分与や慰謝料の基礎知識～」

令和元年10月24日（木） 14：00～15：30

場 所：総社市総合福祉センター2階 技能習得室



＜お申し込み・お問い合わせ＞

総社市権利擁護センター“しえん” 総社市中央1-1-3

TEL (0866) 92-8374 FAX (0866) 92-8284

連載 第22回

「交通事故と過失相殺」



総社市権利擁護センター “しえん”

弁護士 小田 弘昭

交通事故で被害者に損害が発生した場合、被害者は、不法行為に基づく損害賠償責任（民法709条）等に基づいて、加害者に対して、損害賠償金を請求することができます。

ただし、民法は「被害者に過失があったときは、裁判所は、これを考慮して、損害賠償の額を定めることができる。」（民法722条2項）として「過失相殺」について規定しています。過失相殺とは、簡単に言えば、被害者に不注意や落ち度があれば、裁判所は、公平の観点から、「過失割合」（過失相殺率）を認定し、被害者が受け取る損害賠償の額を減額できるということです。

過失割合とは、過失相殺を行うにあたって、事故の当事者の過失の割合をあらわす考え方です。例えば、被害者に100万円の損害が発生した場合に、過失割合が被害者3対加害者7であれば、被害者の過失3割分（100万円×30％＝30万円）が減額されますので、被害者が加害者から受け取る損害賠償金は70万円となります。また、その場合、加害者に損害が発生していれば、被害者はその3割分を加害者に対して賠償する必要があります。このように過失割合は、賠償金の金額に直接影響するので、事故ではよく問題とされます。

過失割合は、事故の態様など客観的な事実によって決まります。例えば、交通事故が発生した場合、警察官が事故現場で当事者から事情を聴取し、「実況見分調書」又は「事故態様図」などの事故の状況を記した図面を作成します。それらは、後に過失割合を決定する上で重要な証拠となります。そのため、事故に遭った際には、警察官に対して、自分の記憶に基づき事実を正確に伝えることが重要です。

典型的な事故の基本的な過失割合については、裁判官によってまとめられた認定基準が存在し、裁判や示談交渉では、通常はその基準が用いられていますが、事故の態様は多種多様ですので判断が難しい場合もあります。交通事故の過失割合が問題となった場合、専門的な知識・判断を要するので、弁護士にご相談ください。

## ひきこもりサポーター養成講座を開催します!

ひきこもりは本人や家族だけの課題ではなく、**社会全体の課題**です。

ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりのかたやそのご家族の支え手として居場所づくり等、自分たちでできることを一緒に考えてみませんか。

令和元年 <b>9月17日(火)</b> 14:00～16:00	<b>「ひきこもり支援とサポーターの役割(仮)」</b> 講師 岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 准教授 <b>周防 美智子</b> 氏 報告 ひきこもりサポーターほっとも
<b>10月9日(水)</b> 14:00～16:00	<b>ひきこもりの理解と支援①</b> <b>「ひきこもりに支援の実践を知ろう(仮)」</b> 講師 岡山高等学院 副校長 <b>水野 文一郎</b> 氏
<b>11月1日(金)</b> 14:00～16:00	<b>ひきこもりの理解と支援②</b> <b>「対人援助で心がけること(仮)」</b> 講師 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 講師 <b>直島 克樹</b> 氏
<b>11月13日(水)</b> 14:00～16:00	<b>ひきこもりの理解と支援③</b> <b>「ピアサポーターの役割と居場所支援について考えてみよう(仮)」</b> 講師 NPO法人あかね 代表理事 <b>中山 遼</b> 氏
<b>11月26日(火)</b> 14:00～16:00	<b>「総社市の取り組みから～自分たちができることを考えてみよう～(仮)」</b> コーディネーター 岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 准教授 <b>周防 美智子</b> 氏 報告 総社市保健福祉部福祉課、総社市社会福祉協議会



- 参加対象 講座終了後にひきこもりサポーターとして登録し、総社市で継続的に活動できる方
- 募集定員 40名 **(参加費無料)**
- 申込方法 **9月11日(水)までにお電話、FAX等でお申込みください**  
 ※氏名・所属・住所・電話番号・受講動機をお知らせください。
- 会場 総社市総合福祉センター(総社市中央一丁目1番3号)
- 申込先 **ひきこもり支援センター“ワンタッチ”**  
 ☎(0866)92-8597 FAX(0866)92-8284
- 主催 総社市ひきこもり支援等検討委員会/総社市/総社市社会福祉協議会

### ひきこもりサポーター養成テキスト販売中です!

ひきこもり支援を効果的かつ着実に行うためには、それを支える人、すなわち、ひきこもりサポーターの養成と支援スキルのアップが不可欠です。本テキストが、皆さんのやる気と力を引き出せるものとなることを祈念しています。

**販売価格:1,200円(税抜)**

購入希望の方は総社市ひきこもり支援センター“ワンタッチ”までお問い合わせください。



### 居場所「ほっとタッチ」OPENしてます!

居場所とは、ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱える方が、ほっと安心して過ごす・家族以外の人と関わる・仲間づくりをする・生活体験をするなど・それぞれの目的で利用できる「安心して、自分らしく過ごせる場所」です。



開所日 月曜日～金曜日 15:00～17:00

※祝祭日は閉所日です



## 総社市地域自立支援協議会 全体会を開催しました！



総社市地域自立支援協議会全体会は、協議会全体の意思決定、行政等への提言機能をもつ社会資源開発会議となっていくことを目指して年1回開催しています。行政報告では、福祉課からの報告に加え、危機管理室からも昨年の7月豪雨を受け、総社市の災害対策について話をいただきました。その後、事務局から自立支援協議会、基幹相談支援センターについて説明し、改めてそれぞれの役割、機能について確認しました。

各専門部会等からは、平成30年度におけるそれぞれの一年間の活動の振り返りと今年度の方針についてご報告いただきました。

今年度も、障がいのある方が安心して暮らせる総社市を目指し、地域自立支援協議会がますます活性化していくように取り組んでいきます。

**総社市地域自立支援協議会とは**  
障がいのある方にとって住みやすい地域を構築するために、障がい福祉施設、障がい者（児）団体、教育機関、行政などが情報共有や連携を図り、社会資源の開発・改善、障がい者（児）支援などについて協議しています。



## 総社市身体障がい者福祉協会主催 ペタンク交流会を開催しました！



**会員募集中！**



7月6日（土）清音福祉センター2階大ホールにて、「ペタンク交流会」を開催しました。和気あいあいとした中で、楽しい時間を過ごしました。この「ペタンク交流会」では、一般の重い鉄球ではなく障がい者用の軽い球を使用しているため、車イス、半身まひの方でも玉を少し投げることが出来れば競技できます。3人が1組になり5チーム総当たりで行いましたが、1球1球で点数が変わってくるのが面白く、優勝を目指してみんな一生懸命でした。

**総社市身体障がい者福祉協会とは**  
障がいのある人たちが孤立することなく、楽しくいきいきと過ごせるようにいろいろな活動を行っています。市内在住で身体障がい者手帳をお持ちの方、ぜひご加入ください

**《申込み問い合わせ先》**  
総社市社会福祉協議会内  
障がい者千五百人雇用センターまで  
TEL：92-8379 / FAX：92-8284



※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。



種別	金額	寄付者	住所
香典返し	50,000円	長谷川 澄子 亡夫(啓介)	赤浜
篤志品	車いす2台	医療法人サンス あさのクリニック	中央二丁目

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載していません。

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所
▽香典返し		武田 善久	東阿曾	田邊 健一	久代
阿部 美智子	駅南二丁目	亡母(照子)	駅南二丁目	亡母(千代子)	日羽
前田 温美	長良	亡父(黒江忠一)	福井	亡夫(肇)	門田
佐野 実	総社一丁目	亡母(尚延)	新本	亡母(信江)	東阿曾
樋口 雅則	久代	亡夫(克則)	新本	亡母(喜久子)	西阿曾
伊丹 隆	西阿曾	亡父(庸夫)	真壁	亡夫(博昭)	久代
横田 伸之	黒尾	亡母(貞子)	門田	亡父(美忠)	下林
田中 広一	中央一丁目	亡母(文子)	赤浜	亡妻(時子)	北溝手
平田 京子	穴栗	亡母(翠)	西坂台	亡父(悟)	福谷
神社 幸子	清音上中島	亡夫(富美夫)	秦	亡母(和子)	
西田 浩二	岡山市北区加茂	亡夫(忠正)	岡谷	▽一般寄付	
山本 邦子	泉	亡父(忠孝)	東阿曾	吉村 清	総社市
中村 和子	総社	亡母(昭子)	井手	板野 幸子	秦
入江 浩子	美袋	亡母(一子)	美袋	鬼之成神楽団	広島県広島市
杉生 訓昭	三須	亡父(正光)	榎谷		
川西 功躬	秦	亡母(知佐恵)	泉		
高屋 環	東阿曾	亡父(敬吾)	駅南二丁目		
		亡父(英禎)			

(平成31年4月11日から令和元年7月20日まで 敬称略)



## 赤い羽根共同募金運動

運動期間：10月1日～12月31日

### ■総社市での募金額と使いみち

#### ◆平成30年度に集まった一般募金額【9,937,898円】

- ・総社市へ配分された一般募金の使いみち  
(市社会福祉協議会地域福祉活動)  
ポスターコンクール、障がい福祉フォーラムハートフルそうじや  
(地区社会福祉協議会に助成)
- ・福祉のまちづくり事業

#### ◆平成30年度に集まった歳末たすけあい募金【64,603円】

- ・平成30年度に集まった歳末たすけあい募金の使いみち  
(在宅寝たきり者友愛訪問 53人)

#### ◆市内福祉施設にも配分されます

平成30年度 赤い羽根共同募金  
ポスター作品コンクール



【最優秀賞作品】  
清音小学校 4年 秋山憲正さん

今年も、10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動がスタートします。運動期間の始まりには、市内のJR駅、量販店で福祉関係団体等の方々による街頭募金活動を予定しています。また、市内の各戸への戸別募金をはじめ、学校募金や企業・商店での協力店募金等、募金活動を地区役員の皆さまのご協力をいただき、進めてまいります。運動期間中、どうぞご協力をお願いいたします。

私たちと一緒に働いてみませんか！

## 登録ヘルパー募集中！

資格はもっているけれど働いたことがない、フルタイムは難しいけれど短時間なら働ける、以前介護の仕事をしていたが、ブランクがある…といった方も大歓迎です。



【問い合わせ先】 総社市社会福祉協議会 在宅福祉課 ☎ 92-8560

## 総社市社会福祉協議会の 会員を募集しています！！

社会福祉協議会では、住民のみなさまが主人公となって「地域福祉の推進」をめざす福祉団体です。そのため、事業費の大きな財源として住民のみなさまに社協会員になっていただき、会費のお願いをしています。(会費は全て年額であり、入会は任意です)



普通会費 1,000円  
賛助会費 2,000円  
特別会費 5,000円

# 「昭和 愛・絆 災害復興祭」

令和元年7月6日(土)・7日(日)、昭和地区では、「頑張っているよー昭和 愛・絆 災害復興祭」が開催されました。

## 復興へ 祈りのエール 夏の間...

近藤 京子 詠

# ふるさと復興に向けて...



◆◆ みんな昭和が大好きです ◆◆

あれから365日経過しました。被災者は、みんな頑張っていました。ふるさと愛の強化を目指して企画したところ、予想以上に多くの住民が喜んで参加(延べ160名)し、楽しんでいただきました。主催者として、「涙・涙・涙」でした。この「昭和 愛・絆 災害復興祭」を契機に、「ふるさと笑輪(昭和)」は力強く、そして大きく花咲くことでしょう。昭和地区住民の愛・絆はより深く、強くなりました。頑張っているよー昭和代表

# 「みんな下原に集まる」



豪雨災害から1年が経過しました。しかし、下原地区の復興は、まだまだ道半ばです。「みんな下原に集まる」は、そんな道半ばの下原地区に住民が主体となって元気を届ける目的で開催しています。当日は、130人を超える参加があり、たくさん笑顔や元気な姿が見られました。これからも一歩ずつ復興にむけてあゆみを進めていきます。

# 復興支援ボランティア

7月20日(土)、ボランティア大作戦 in 総社ロフト2を実施しました。当日は、雨天が心配されるなか、78名のボランティアの方に集まっていただきました。今回は、家屋解体前のご自宅などから家財等を搬出する活動を行いました。被災地の復興へ向けて、ボランティアの方の活動も継続されています。



昨年の「平成30年7月豪雨」は、本市にとって未曾有の災害となりました。この災害から1年が経過しましたが、いまなお118世帯245人の方々が仮設住宅などで、不安定な生活を強いられています。本会では、復興支援センターを中心に、被災された皆さまが一日でも早く生活再建できるよう、全力で取り組んでおります。

また、これまでに本会災害ボランティアセンターを通じて、延15,700人を超える方々に被災地での復旧活動をはじめ、避難所やフリーマーケット等で活躍いただきました。ボランティアの皆さまに深謝申し上げますとともに、引き続きあたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会 会長 風早 昱源

みんなの  
ちいきふくし

社協だより  
vol.59

9  
2019

Chi-ki Fukushima  
Soja City  
Council of  
Social welfare

編集発行/社会福祉法人 総社市社会福祉協議会  
〒779-1313 岡山県総社市中央一丁目三番 総社市総合福祉センター内  
TEL:0866-91-8555 メール:info@sojasyakyo.or.jp  
FAX:0866-94-0089 ウェブ: http://www.sojasyakyo.or.jp